

トムス 86 サイドディフューザー

このたびはトムス サイドディフューザー(以下ディフューザー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。

本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2016年12月)

トヨタ 86(ZN6) 平成24年2月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

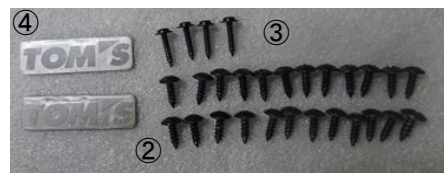
1. サイドディフューザー取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
2. サイドディフューザー脱落防止のため、取り付けボルト等はしっかり締めてください。
また、走行前にゆりみがないかチェックしてください。
サイドディフューザーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
4. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「サイドディフューザー素地品の塗装手順」を参照の事)
4. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
5. サイドディフューザー装着により、標準ロッカーパネルより、地上高約-30mm低くなり、全幅約+5mm(片側)となります。
6. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
7. 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

【サイドディフューザー構成部品】



- ① サイドディフューザー L/R x各1
- ② タッピングスクリューx24 (M5x16mm)
- ③ タッピングスクリューx4 (M4x20mm)
- ④ トムスエンブレムx2



取付要領 【本取り付け説明書は運転席側で説明を進めておりますが助手席側も同様に取り付けをお願いします。】



1. リヤホイールハウスプレートFRを取り外して、
①ディフューザーを仮合わせをする。

(リヤホイールハウスプレートFRは再使用はしない。)

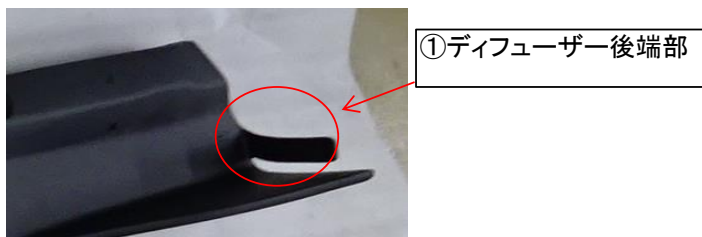
アドバイス

取り外した純正部品は保管をすることを推奨。



アドバイス

車両側の凸部に①ディフューザーの凹部を合わせるようにする。①ディフューザー後端部を車両側に突き当てて位置決めをする。

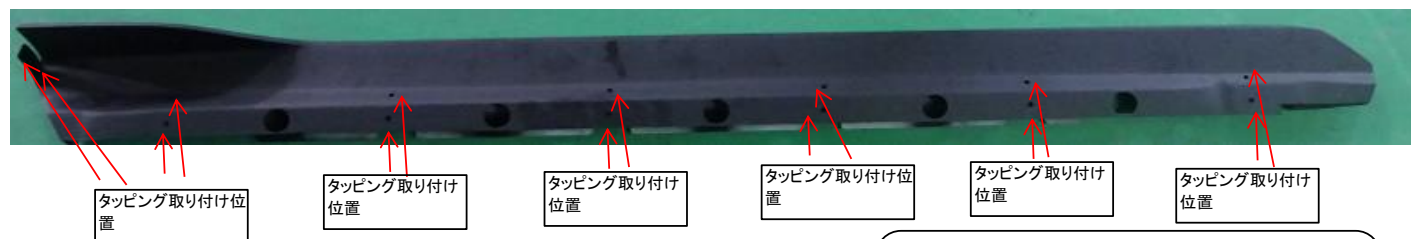


2.取り付け位置を確認したら①ディフューザーの穴あけ箇所をマジック等でマーキングをする。

注意！

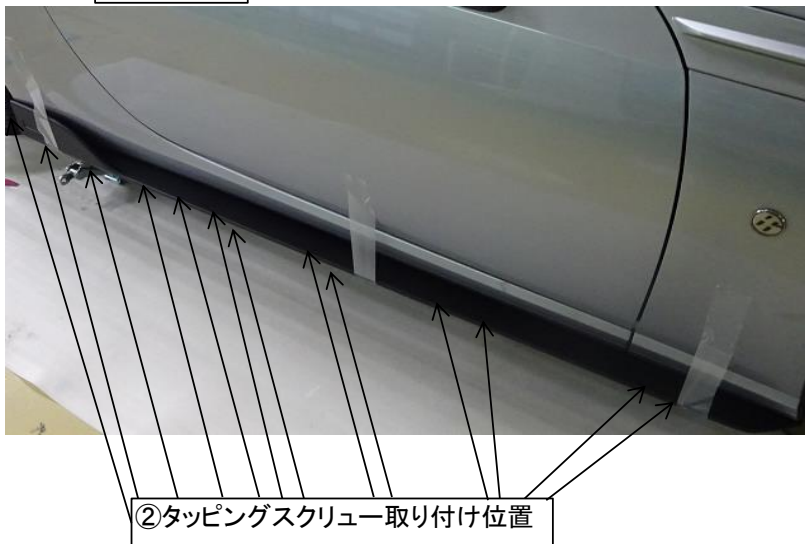
マーキングが正しく行われないと①ディフューザーが正しい位置に取り付けられない。穴あけ作業をする前に仮合わせを十分におこなう。

3.純正ロックパネルの穴あけ位置をマーキングしたら一度①ディフューザーを取外し3.5mmの穴をドリルであける。
(片側12箇所)
リヤフェンダーアーチ部位も穴あけ処理をする。



注意！

穴をあける時、①ディフューザーとロックパネルの隙間や取り付け位置を必ず確認する。



4.穴あけ作業が終了したら①ディフューザーを車両へ②タッピングスクリューを使用して取付ける。



5. 下面のタッピングスクリューを取り付けたら
リヤフェンダーアーチと①ディフューザー後端部
を③を使用して取り付ける。

6. 各部位のタッピングスクリューを本締めをする。

7. ④トムスエンブレム貼り付け箇所を脱脂して
トムスエンブレムを貼り付ける。



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月～金 AM9:00～PM5:00

TOM'S

サイドディフューザー素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①サイドディフューザー L/R x各1
- ②タッピングスクリューx24 (M5x16mm)
- ③タッピングスクリューx4 (M4x20mm)
- ④トムスエンブレムx2

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は40度以下で行うこと。

注意！

本製品はFRP製のため適切な塗料を使用する。

注意！

40度以上の加熱は製品変形の恐れがある。